

令和元年度評価会議 議事録（要旨）

日時：令和元年9月3日(火)9:55～11:45

場所：阿南商工会議所 研修室

会長	<p>①会長の選任・副会長指名 （他の委員より、A委員の推薦） 異議なしの声 A委員が、会長就任</p> <p>就任挨拶 副会長にB委員を指名</p>
事務局	<p>②戦略及び事業実施状況・計画に関する評価・検証 当法人の概要、戦略、平成30年度の事業実施状況及び令和元年度の実施計画・進捗状況等を説明。</p>
会長	<p>平成30年度が法人活動の実質1年目にしては、様々な活動を行っているように思われる。各委員からご意見等があればおっしゃってください。</p>
委員	<p>デジタルマーケティングはどのような手法でどのようなデータを集めているのか。</p>
事務局	<p>興味連動広告の手法をとっている。ネットにて検索時に履歴をもとにして、関連する広告が表示されるようにしている。次にリスティング広告の手法をとっている。ネットにて検索時、検索結果の上部にホームページのリンクが表示されるようにしている。費用については、CPCによるので、効果が見られなければ、都度修正を講ずる。</p>
委員	<p>キャッシュレスセミナーについて、消費税の増税があるが、どのような事業者から反応があったか。どのような割合でクレジットカードが使えるか。</p>
事務局	<p>キャッシュレスセミナーは事業者に対して集合型と個別型の個別訪問を行い、キャッシュレスについて説明して回った。いくつかの事業者では端末はあるが、設定が出来ていないところがあった。掘り起こせば、すぐにでもキャッシュレスを開始・再開出来るところが多いと感じる。クレジットカードが使える割合までは把握していない。</p>
委員	<p>感覚では半分程がキャッシュレスに対応済みだと感じる。ただし、事業者によっては設備を使っていないところもあり、課題となっている。</p>
事務局	<p>インターネット環境により使えない、POSとの連動がとれない、及び身内に任</p>

	しきりになるというのが、キャッシュレス設備を使わない一因となっていると感じる。キャッシュレスの重要性は概ね理解が広まっていると感じる。外国人の受入体制の強化にも繋がり、今後も普及活動は続けていく所存。
委員	少ない人数で多くのことを行われていると感じる。県内や海外の人から見たときに、観光素材が総花的に見えてしまい、例えば、徳島県でサーフィンを行ったときに、他県と異なり何が魅力となるか、満足度の調査モニタリング等を行い、戦略を練る必要があるのではないかと。タイムスケジュールとしては、いつまでにどれくらいの集客を目指す等、計画はあるのか。
事務局	ここでないといけないというアピールが出来ているかにつきまして、四国の右下である必然性をもったプロモーションを行うことの大事さを感じている。SUPであればサステナブル阿南と連携していく等して開発していきたい。また、阿南であれば、花火の作成体験ができ、実際に旅行会社からの反応も良かった。スケジュールについては、KPIを代わりとしたい。より詳細なスケジュールがまとまれば、提示していきたい。
委員	サーフィンはオリンピック等も含め、盛り上がっていくと感じる。有名人がサーフィンのために四国の右下エリアに宿泊したとの噂を聞いた。初心者でも落ち着いて出来る場所等、幅広い方に楽しめる環境があれば良いのではないかと。
事務局	高知ではあるがサーフィンゲームスもあり、盛り上がっている。徳島県サーフィン連盟の方とも連携をとり、観光素材の開発を行っていきたい。
委員	右下エリアに来る方は自家用車が多く、海外の方の2次交通が課題となっていると感じる。交通手段についてはどのように感じるか。
事務局	バス事業者に対して、チャーターした際の見積り、計画を行っている。チャーターの手続きを1本化、効率化、シームレスな手続きとなるように協議中である。
委員	JR四国の特別列車を出すことは可能なのか。
事務局	現状では、困難であるが、引き続き交渉をしていきたい。
委員	観光局は宣伝と素材の売り出し、旅行代理店が主だと捉えているが、どこまでが業務の対象となるのか。
事務局	個人や各事業者がもっている素材を組み合わせ、新たな素材とすること、宣伝を行うことが主な業務となる。
委員	旅行業登録は現状どうなっているか。基準資産の700万円は集まりそうなのか。
事務局	供託金に関しては、本年度の予算に組み込んでおり、準備出来ている。基準資

	産については、一般社団法人の性質上すぐに準備が出来ず、集めている段階である。会費や寄附金が主となり、700万円集めたい。
委員	四国の右下と検索をすると、ホームページは上部に表示されるが、YouTubeにない。作成してはどうか。
事務局	早急にYouTubeにて開設し、動画を発信していきたいと思う。
委員	大手の旅行業では、各地のアテンドを行う等の緻密な活動を行うことが困難である。観光局としてどのような取り組みを行っていくのか。
事務局	当局が旅行業に登録すれば、アテンドを拡大でき、アテンド料も得られる。多くの旅行業が発旅行であるなかで、受旅行の旅行業を行うことが可能になる。ゆくゆくは旅行者だけでなく、一般の方からも多くの受注を行うモデルとしたい。
委員	KITO DESIGN HOLDINGSの藤田社長が観光大使となり、インフルエンサーとなれることは大変素晴らしいことだと感じる。どのような連携をとっていくのか。
事務局	那賀町のみを集客するのではなく、各地と連携をとって集客数を伸ばしていきたい。観光局とKITO DESIGN HOLDINGSと情報を交換し、地域の復興を行ってきたい。
委員	魅力倍増推進協議会からの負担金が増えているが、市町村に求めるのか。早急に行うべきことは、候補法人をとることではないか。そして1市4町の旅行プラン造成が必要である。また、初心者向けのサーフィンをよくばり体験が行っており、どのように連携をとっていくのか。
事務局	負担金の増は、職員数の増の分であり、当初予算では昨年度の同人数で計上を行っていたため生じている。 候補法人をとることは私どもも早急に行うことと感じており、次の観光庁への申請のタイミングで外すように手続きしていきたい。 旅行プラン造成のスキームとしては、観光局が直接販売が出来るように柔軟に推し進めていきたい。 よくばり体験は、教育旅行の取り組みとしては既に完結しており、一般の方や外国人への販売について、私どもが補っていければと感じている。
委員	派遣者の職員を増やす予定はあるのか。
事務局	現時点ではない。
委員	現状の実施結果・進捗から、総合的にどう感じているか。
事務局	自己評価については、チェックシートにより問題はないと感じている。DMOとして機能して間もないので、成果としては計測しきれしていない。今度も評価会

	議等によりご意見を頂き、改善していきたいと感じている。
事務局	<p>③KPIの達成状況・設定に関する評価・検証</p> <p>必須KPIを説明し、今年度も現状では達成見込みであることを伝えた。続いて、その他KPIについて説明し、体験プログラム申込実績は低い数値となっているが、英語にも対応するようにし、向上する見込みであることを伝えた。</p>
会長	<p>事務局の説明に対して、各委員からご意見等があればおっしゃってください。</p> <p>(発言なし)</p>
事務局	<p>④次回の開催時期</p> <p>令和2年度2月頃を予定</p>